

2024

夏

19号

MIYAKO HOTEL

チャランポランの会  
夢と笑いの

かわら版

シニアのシニアによるシニアのための会報誌



## チャランポランの会は何をする会？

チャランポランの会は、シニアを応援する会です。高齢者の貴重な経験と、そこから得た知識を共有し、次世代に伝えていく媒体になることです。

- \*\* 会報誌「かわら版」（年4回発行）を通して、シニアの方々を元気にしていきます。
- \*\* 交流の場を提供し、楽しみや生きがいを持てるようにします。
- \*\* シニア向けの講演会、イベントを開催していきます。（当分は米国）

## 入会ご希望の方

チャランポランの会には世界中のシニアの方であれば、どなたでも会員になれます（未来のシニアの方も歓迎）

- \*\* 年会費：一切なし
- \*\* 手続き：下記のインフォメーションをご記入の上、郵送またはEmailにてお申し込みください。
- \*\* 氏名 \* 住所 \* 電話番号 \*かわら版を何でお知りになりましたか \*出身地 \*Eメールアドレス（オプション）\* 生年月日（オプション）をお書きの上、次の送付先にお送り下さい。

【郵送先】 CharanPoran USA  
4733 Torrance Blvd., #768  
Torrance, CA 90503

【Eメール】 katsm2390@gmail.com

「かわら版」創刊号から今日に至るまで多くの読者の皆さまから心温まるお言葉と共にドネーションを頂いております。ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。この会は連邦政府から NPO (Non-Profit Organization) 非営利団体として認可(501.C.3)を受けております。

### 「かわら版」への投稿方法

- 川柳・俳句・短歌：お一人一句一首
- お便りコーナー：200字以内が歓迎ですが、超えても結構です。住所、氏名、年齢（オプション）、電話番号、Emailを明記の上、郵送またはEメールでお送りください。尚、都合により内容を割愛、一部変更させて頂く場合もございますのでご了承下さい。投稿が多数の場合は「かわら版」編集部で選定の上、掲載または次号への持ち越しとさせていただきます。

「かわら版」へのご意見・ご感想をお気軽にお寄せください。CharanPoran USA まで郵送、またはEメールにてお送りください。

## 会の名称

### 『チャランポラン』

私達、発起人は二十代から六十代まで長い間、一応真面目に仕事し、子供を育て、一社会人・一家庭人としてそれなりの責任を果たして来ました。ふと気が付いて見ると、もう高齢者です。昔の元気はなく、体力も落ちました。これからの人生をいかに生きるかと考える時、やはり明るく元気に過ごしたいものです。それには今までの常識の枠を離れ、自由な新しい発想や考え方で生きるのが良いのではと思います。

その理想が「チャランポラン」です。一見、「真面目や責任」とは対極にある考えのようですが、今まで以上に豊かに生きるために必要なキーワードかなと思います。認知症防止のためにも、是非皆さん、一緒に楽しく、チャランポランに生きましょう！

## チャランポランの会

### 運営委員・かわら版

土田三郎 宮里 カツ 太田 勉  
古口友紀

CharanPoran USA  
4733 Torrance Blvd., #768  
Torrance, CA 90503 U.S.A.

☎ (310)600-5612

(メッセージを必ずお残し下さい)

Katsm2390@gmail.com  
www.charanporanusa.org

皆さんこんにちは。5月13日にロサンゼルス総領事館に着任しました、北川俊一郎と申します。昭和最後の年に生まれ、この7月で36歳になります。

私は兵庫県姫路市の、海辺に近く田園が広がるのどかな場所で生まれ育ちました。幼い頃からドライブと地図を見るのが好きで、道路とまちづくりに興味を持ち、大学では土木工学を専攻しました。その後、東日本大震災の直後に津波の研究を行ったことや、実家が漁村から近かったことを受け、漁業者をはじめ漁村に住む人々が生き生きと暮らせる世の中にしたいと思い、平成26年、農林水産省の水産庁に就職しました。

水産庁では主に、漁港や海岸の整備に関わる仕事を行ってきました。といっても現場でとんかちを叩く仕事ではなく、漁港整備に必要な予算編成を行ったり、法律を改正するデスクワークがほとんどです。途中で国土交通省に出向し、四国4県の港湾を活性化させる仕事にも携わりました。香川県高松市に住んでいましたが、四国の64もの離島を巡ったり、自転車ですべて一周、トライアスロンに出場したりとても充実しておりました。

社会人2年目の時には宮城県気仙沼市の漁師さんのお家にホームステイして、1ヶ月間カキの養殖のお手伝いをする研修を受けました。数多くのシニア漁師さんとお会いしたのですが、海の恐ろしさと雄大さ、復興を踏まえた今後の水産業のあり方など熱いお話をたくさんお伺いしました。

そんな、いわば「海の専門家」の私ですが、職場を出て「農林水産省で働いている」なんて言うと、あたかも農業や魚に詳しい専門家のように扱われます。一方で、農業の生産現場や経営実態、食品の安全性、輸出も含めた食品の流通、水産資源の管理などについては全然知識も経験もなく、果たして自分が「農林水産省職員」を名乗って良いのか？と悩む時期もありました。と同時に、日本を良くしたいのであれば、まずは海外に身を置き、外国と日本の関係性を見てみないか？と思うようになりました。

新しい事への挑戦はものすごく抵抗があり、その上英会話も苦手な海外旅行は全部友人任せ、30歳を超えて結婚できるかどうか気になっている、そんな自分が海外で働けるのか？そんな不安もありました。一方、高校時代にバスケット部を辞めて陸上部に転部し、長距離走で大成功を収めたこと、逆に、大学院時代に留学やインターンシップをできる機会があったにも関わらず、何も挑戦せず後悔してしまった事を思い出しました。「やらずに後悔よりやって後悔」「今挑戦しなければ一生後悔する」。そんな思いから、社会人9年目の時に一念発起し、外務省の在外公館に出向することを決意しました。

そして同時期に、今の奥さんと出会い、昨年11月に無事に結婚できました。

数ある在外公館ポストの中で私がロサンゼルスを選んだ理由は、①日系企業・邦人数が世界でトップクラスに多く、②農林水産物の輸出実績が高く、多くの人脈形成が築ける上に、輸出の知見が得られると思ったからです。あと、③海が近いことも大きな理由です。なんてたって海の専門家ですから。

早いもので社会人11年目。妻と共にロサンゼルスに来て2ヶ月が経過しましたが、朝は曇り、昼から晴れる、雨の日は一度も無い。そんな印象を受けております。日本にいたるとこの時期は汗ばむ暑さでしたが、ロサンゼルスはカラッとしていて気持ちの良い暑さですね。ただし、夜は冷えるので常に防寒着が必要です。

ロサンゼルスに来てから、食産業関係の方々にお会いする機会が増えました。数十年前からロサンゼルスに来て、食品製造やレストラン等で日本食の普及に取り組んでいるシニアの方々にもたくさんお会いしました。アメリカという新たな土地で、1から日本食の普及に向けて自社を構え、新たな事業に取り組むには、大きな勇気と挑戦心を要することになります。「成果が出なければ終わり」という厳しい場面もある中、リスクを取って何事にも新しいことに貪欲に挑戦するの方々には本当に尊敬の意を表します。

私も、日本のアニメや音楽といった日本文化との連携を通じた日本食の普及など、新しい事に果敢に挑戦していきたいと思います。もちろんプライベートでも色々挑戦しなければ！何を？かはまた追々・・・。



2017年 愛媛県松山市の離島・中島で行われたトライアスロン大会での一コマ

# アルツハイマー病の方々のために

アルツハイマー型認知症と予防する具体的な手段として、バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠、禁煙、節酒、知的活動などが挙げられている。認知症は年齢を問わず発症する病気の一つで、これまで通りの生活を続けるためにも、誰もが認知症の予防に繋がる習慣を取り入れることが大事である。以下に既にアルツハイマー病の方々、進行中の方々、更に介護する家族の方々へのワンポイント注意点を提案します。参考にして安心・安全な生活をお過ごしください。

## 1) 迷子や一人歩きについて！

手元におく：薬、医師の名前・電話番号健康保険の情報、最近の写真、身分証明書、IDブレスレット、居住州のID



## 2) 安全

\*階段に手すりをつける \*車の運転の危険性について考える  
\*ナイフや銃を鍵のかかる箱にしまう



## 3) 事故を防ぐ秘訣

台所：自動消火器、最近の写真、身分証  
家中：背もたれが頑丈な椅子やテーブルを使用する



## 4) 転倒防止の秘訣

家庭内：バスルーム、階段、ベッドにレールをつける。照明スイッチはドアや階段の近くに設置する



## 5) 薬の安全な使い方



整理：全ての薬のリストを作る  
管理：安全で鍵のかかる場所に置く  
介護者：薬の服用は決まった時間を守る 薬の服用に時間をかける

資料：Little Tokyo Service Center で作成された資料「安全な家庭内環境—アルツハイマー病の方々のために」を使わせて頂きました。LTSC 様に、本紙上にてお礼を申し上げます。

## マメ知識

世界保健機関 (WHO) が発表した報告書によれば、世界の認知症有病数は現在、およそ 3,560 万人に上がります。そして、2030 年までに 2 倍の 6,570 万人、2050 年までに 3 倍の数になると測られています。日本では、65 歳以上の高齢者のうち認知症を発症しているのが推計 15%で、2012 年時点で約 462 万人に上がると厚生労働省研究所の調査で明らかになっている。

## 世界の認知症

人口 1000 人当たりの認知症患者数は OECD 平均で 14.7%であり、日本は OECD 諸国で最多の 23.3 人である。日本の場合人口 100 人に 2 人以上は認知症患者がいるといわれている。日本など高齢化の進んだ国で認知症患者が多く、途上国のインドなど高齢化がまだ進んでいない国では認知症患者が相対的に少ないことは一目瞭然である。

資料：OECD、Trends Sharing Education 2019

# 明日を担う子供たち

土田三郎

NHK テレビで「光る君へ」と題して、紫式部物語が放映されています。私は日本の歴史を学ぶためにこの番組を観ています。奈良時代の日本最古の和歌集となる万葉集では、日本語の音や訓を漢字に置き換えた万葉仮名が採用されました。これをさらに簡素化して平安時代に日本語独特の「ひらがな」が生まれ、これが洗練された日本文化と心に響く美しい日本語の源泉となりました。NHKによれば、ひらがなと漢字は貴族社会の共通の言語として広まり、日本語の礎を構築していたと描かれています。紫式部は「源氏物語」を始めとして、女流作家歌人として貴重な作品を多く残しています。万葉和歌に見られる大自然を愛でる心が、今日まで脈々と続いて日本語の貴重な伝統となっています。



紫式部

一方で、中国宋代に発刊された初学者向けの漢字教科書「三字経」が平安時代に日本に持ち込まれ、当時の上流階級の子供たちのために「寺子屋」での学びとなりました。「三字経」は一行が三文字の漢字が用いられ、子供にも分かりやすい本です。その内容は両親や家族を敬う儒教思想を基本として、人間力を高める徳目を学びます。昔の偉人伝も載せています。子どもの人間力を高めるために親と子供と一緒に声を出して「三字経」を読んでいたとのこと。日本語版の「本朝三字経」も幕末に発行されました。「子どもの時から志を持って勉強した人が国を作っています。皆さんも勉強すればできるようになります」と、日本の寺子屋で教えていたようです。



本朝三字経

さらに寺小屋の教材には、「読み書き算盤」や、侍の子供たちが生きるための教訓書となる「童子教」も採用されました。これは日本で制作された子供向けの漢文教材で、作者は平安前期の天台宗僧侶、安然の作品とする説もあります。この世の無情から來世に願い求めるといふ当時の仏教の教えを含めて、論語や詩経の言葉も使いながら、礼儀作法、言葉の使い方、教師への敬意、両親への孝養など、時の武家社会を学ぶ内容をまとめています。報恩思想でその名が知られる二宮尊徳が薪を背負いながら読んでいた本は「童子教」であったと言われています。



寺子屋風景

Google Image

寺子屋は私的で自由な学び舎で就学年齢もなく、江戸末期の資料では、日本全国で大小の寺子屋の数は165,560も存在したとのこと。生徒の年齢も6歳から18歳まで幅広く、指導分野も多岐で、当時の実

業界の礎となりました。それまで和魂漢才（中国）と呼ばれていた日本で、明治時代から和魂洋才の柔軟な発想に転換できたことは歴史的なことでした。

明治初期の寺小屋の就学率は70%~85%であり、当時の日本の識字率は、他のヨーロッパ諸外国よりも高かったようです。明治政府は1872年に学制を敷き、全国の小学校創設のために既存の寺子屋で規模の大きな所は、そのまま小学校として編成しました。この編成は、その後の日本における教育の発達を促し、明治政府を支えました。明治維新は、例外的な平和革命と考えられています。当時の若い人材の活躍は寺子屋での人間学の学びが高かったからこそなし得たと、多くの先人たちが評価しております。

若い時の学びは、明日を担う子供たちの原動力となることを、心に留めて置きたいと思います。

明治維新で活躍した人たちの当時の年齢

勝海舟	45歳	岩倉具視	43歳	西郷隆盛	43歳	大久保利通	38歳
木戸孝允	35歳	坂本龍馬	33歳	徳川慶喜	31歳	伊藤博文	27歳

## 私の青春時代 PAN AM LAST FLIGHT

青野桂子 California

“パンアメリカン航空、ドル箱の太平洋路線をユナイテッド航空に売却” 衝撃のニュースを聞いたのは85年4月のある朝、成田-LAX便の乗務を終え帰宅途中のフリーウェイの上でした。結果、翌年2月に400人のパイロットと1200人の客席乗務員がパンナムからユナイテッドに移籍する事になる。

子供の頃、毎日曜日の朝に放映された旅番組“兼高かおる世界の旅”を彼女のエキゾチックな美しい容姿と気品ある会話、勇敢な旅への姿勢に憧れを持って楽しみに見ていました。番組協賛のパンナムの機影は遠い遠い夢



でした。当時の加山雄三の映画“アルプスの若大将”で星ゆり子がパンナムのローマ支店のグランドスタッフを演じていたのも素敵でした。そんな経緯があって後年パンナムの客室乗務員に慣れた時は正に私の青春のハイライトでしたが、既に経営は厳しかったようです。それでも古き良き時代の残り香を嗅ぎながら南太平洋の島々、未知の国々への8年間のフライトは私の青春を彩ってくれ、86年2月12日のパンナム最後の成田-LAXPA22便の乗務で幕を閉じたのでした。パンナムが無くなって30年以上経つ今でも世界のあちこちで **reunion** が行われているのはパンナムが社員達の夢と青春で出来ていた会社だったからでしょうね。



PA-022便ロサンゼルス行のクルーたち(提供: 森田智子)

成田空港第3サテライト34番ゲートを前にした、出発直前のPA-022便クルー。左から4人目の女性が森田さんで、一番左の女性がもう一人の日本人乗務員である榎本桂子さん、中央の白い帽子の人物は機長のJ・スローン氏。なお、この日のアメリカ行きパンナム・ラストフライトは、PA-012便サンフランシスコ行き、PA-022便ロサンゼルス行き、PA-800便ニューヨーク行き、PA-830便ホノルル行き……の4便だった。

思い出の記念写真 左端が筆者(旧姓: 榎本)

# 私の青春時代

住山 弘 日本在住

私の青春時代を一言でいうならば「苦しくも充実した日々」であった。当時、山陰の小都市、鳥取県米子市に住んでいた。日本が第二次世界大戦に敗れ、戦後の混乱期から少し落ち着きを取り戻してきた頃である。我が家は両親と姉の4人家族で終戦の年の暮れ朝鮮（現韓国）から引き揚げ、父の郷里である米子に落ち着いた。生活のため桑畑を借り一家でそれを開墾して自給自足の生活を始めた。何分農業は素人、生活は厳しかった。学校から帰ると畑通いの毎日だった。一旦は高校進学も断念したが、奨学金を得られることになり進学した。当時は、今日のような受験戦争といった状況にはなく（田舎ということもあったかもしれないが）クラブ活動も含め充実した学校生活を送った。



米子・伯耆大山

そして多くの良き友を得た。それぞれ社会で活躍した分野は違ったがよく交流した。また、高校時代は気付いていなかったが、その中に63年を共にした伴侶がいたのである。



「我が青春時代、万歳！」

## ちょっぴり思いやり

小笠原和子 カリフォルニア



「思いやり」について大変興味を持っています。そんな折、鶴亀さんの「ちょっぴり思いやり」の会を耳にして、(待ってました!)とばかり即入会。

この会はお互い体験談を共有する会で、私にとっては大変勉強になりますので、期待しております。

「思いやり」は受けてもよし、させていただくのもよし。でも、こうして「思いやり」が出来るのもお互いに(心に余裕)があってこそ出来るものではないかと思っています。

今回新たに「思いやり」を発見。狭い道をドライブ中に対向車を見つけた時にとっさに取る行動は、(お先にどうぞ)と道を譲ることに(出来るだけ)。すれ違いに相手側から手で(サンキュー)の挨拶が。勿論こちらが受けた時には同じ事を心がけております。



それ、重そうだね。ボクが持ってあげるよ。

もし皆さんの中で「お思いやり」に関しての体験談をお持ちの方がおられましたら是非教えてください。首を長くしてお待ちしています。

たすけ合うと  
大きな力に  
ひき受ける  
喜びがうまれる  
声をかけると  
一つになれる  
笑顔は返ってくる

思いやり算



## “おにぎり”の思い出

鶴亀 彰 カリフォルニア

「アキラ、キセおばさんとこに行って、おコメを少し借りて来てちょうだい」と母。

「ウン、行って来る」と9歳の私。

「アタシも一緒に行く」と7歳の妹。

翌日は春の遠足で、小学校に入ったばかりの妹には人生初めての遠足だった。妹は「明日はおにぎりを持って行きたい」と残業から戻って来た母の顔を見るなり訴えた。友達も芋ではなくおにぎりを持って来るのだと言う。しかし、我が家のブリキの米びつの中にはコメの姿はなかった。次のコメの配給日まで大分時間があつた。戦争未亡人家庭の我が家にはヤミ米を買うようなお金は無かった。娘の泣きそうな嘆願に負けた母の言葉が冒頭の言葉だった。



給食風景 Google Image

敗戦後の日本は長く酷い食糧難に襲われていた。1950年のこの頃でも鹿児島県の漁村ではサツマイモが主食だった。学校では給食が出されていたが、脱脂

粉乳を溶かしたミルクと、トウモロコシの粉で作った団子が主だった。その不味い脱脂粉乳やトウモロコシの粉も日本人の命を繋ぐのには大いに役立った。当時一千万人の日本人が飢餓で死ぬと予測されていた。ララ物資と

呼ばれ、在米の日系一世達が収容所から出て来たばかりで自分達も生活不如意の中、母国の窮状を知り、支援



送られてきたララ物資 Google Image

に立ち上がった。キリスト教団体なども協力した。

日本中の母親たちも色々工夫して、飢えを凌いでいた。サツマイモが主食の鹿児島でも母親たちは同じ芋を蒸かしたり、焼いたり、揚げたりして家族に食べさせた。漁村だけに海産物には恵まれ、目刺などと一緒に食べると、何とか三食芋生活も凌げた。余談だが、甘藷先生と呼ばれた青木昆陽が1734年、薩摩から芋を江戸に広めたので、サツマイモと呼ばれるが、鹿児島では今でもカライモ(唐芋)と呼ばれている。1600年代に当時の琉球を通じて中国から伝播して来たためである。

キセおばさんは母が親しくしていた従姉だった。家から数分のところに家族6人で住んでいた。「アキラちゃん、悪いね。実はうちにも残りのおコメはないの」とキセおばさん。最後のコメを明日の家族の弁当のために入れて釜の中に入れてあつた。当時の配給の米は質が悪く、一晩水に浸して置かないと、硬くてまずかった。しかし、泣きそうな妹の顔を見たキセおばさんは、釜の中の濡れたコメを茶碗で掬(すくう)って、私が持っていた筈(ざる)に入れて呉れた。妹の顔が感謝と喜びで輝いた。

帰り道、妹が自分も筈を持ちたいという。片手で持てる軽いものである。私は妹一人に持たせるべきであったが、どうしたことか、私も大切な米を手放さなかった。結局妹と一緒に持った。歩き始めてしばらくして、何かにつまずいたか、妹が転んだ。妹は手を離せばよいものを転びながらも筈から手を離さなかった。妹の身体の重みと共に筈の中のコメは哀れにも地上にこぼれた。数時間前の雨のせいで舗装などされていない田舎の土の道は泥んこになっていた。白いコメが黒土の上に散乱した。妹は火が付いたように泣く。私も泣きたいような気持だったが、泣いても仕方がない。薄暗い街灯の光の中でコメを丹念に掬い、家に持ち帰った。母は何度も何度も水で洗った。

翌日は晴天で何よりの遠足日和だった。おにぎりの味がどうだったか、記憶にない。

ひょっとし

たら、残った砂粒がジャリと音したかもしれない。今でも私の記憶にあるのはおにぎりを手にした妹の大きな笑顔と、そして前夜、裸電球の下で泥まみれのコメを洗っていた母の背中である。きっと母は親子三人の生活の苦しさや辛さ、悲しさに泣いていたのかもしれない。子供二人にはその涙を見せなかったが、背中が揺れていた。

それから長い年月が過ぎ、このおにぎりのエピソードは私達三人の間では常に笑いながら感謝で思い起こすものとなった。妹はその後、農家に嫁いだ。漁村育ちで慣れない農村生活は大変だったろうが、自宅近くには田んぼもあり、コメに困る事は無かった。毎年新米をキセおばさんに送っていた。

**ララ物資**(ララぶっし)とは、ララ(英語:LARA;

Licensed Agencies for Relief in Asia: アジア救援公認団体またはアジア救済連盟)が提供していた日本向けの援助物資



遠足記念写真 Google Image



シートベルト着用のサインが消えると、私は、待っていましたとばかり「森のイスキア」を出るときに渡されたタオル地のハンカチの包を開いた。海苔にくるまれ真っ黒でツヤツヤのおむすびが二つ出てきた。

佐藤初女（はつめ）さんの「おむすび」である。

ふるい話になるが、龍村仁監督のドキュメンタリー映画『地球交響曲第二番』がロサンゼルスで上映された。その上映に合わせて、出演者の佐藤初女さんが講演のために訪米された。友だちの紹介で、初女さんを囲む夕食会を我が家でした。白髪の品のいい人だった。弘前弁でゆったりとした話し方に温かい人柄を感じた。友だちが、初女さんのおむすびを一度でいいから食べてみたいという。た

かがむすびではないか、話題にのぼる「森のイスキア」とは何だろう。

私は上映から一か月後、青森の岩木山の麓にある森のイスキアを訪ねた。おむすび、梅干し、漬物、ふきのとうなど私たちの幼い頃あった日常の暮らしがそこにはあった。心の

疲れた人、生きる方向を見失った人たちが訪れ、生活をともにすることによって、癒され、元気を取り戻す癒しの場所だったのである。

夕食の支度をする初女さんは、食材の持つ味を生かして、美味しく食べるそのためには細心の注意をはらい、なんども味見をし、本当の味を見つけようとする。

「ほら、枝豆が透明になってきたでしょ。この瞬間を『いのちの移し替え』と呼んでいます。その命を私たちはいただくのです」という言葉が心に響いた。

帰り際、花模様のタオル地に包んだおむすびをいただいたのである。食べながら、初女さんのやさしさに涙がとまらなかった。

「東北のマザー」と呼ばれた佐藤初女さんは、2016年、94歳で亡くなった。



佐藤初女さん



**「イスキア」命名の由来について**（佐藤初女）  
「イスキア」とはイタリアの南西にある火山島の名前ですが、私達はこの「イスキア」を心のふるさと、どうにもならない程の重荷を感じたとき、そこへ行けば、癒され、自分を見つめ、新たなエネルギーを得て、生き生きとして自分の現実へ立ち戻ることのできるような場所ということで「イスキア」と命名いたしました。



イスキア島

## 東京で食べたおにぎり

みやざと・かつ

品川のホテルに着いたのが夕方であつたので、疲れた体で外出し夕食を食べる元気もなかった。幸い徒歩数分で行ける7-11のストアーがあつたので、兎に角お店に入った。いろいろな食べ物が陳列、目についたのは美味しそうな銀シャリの“おにぎり”だつた。品数も豊富で配達されて間もなくと判り数個のおにぎり、サラダ、みそ汁を購入して部屋で食した。



豊富な品数



たこのおにぎり

北海道産の海苔でくるんだおにぎり、醤油で煮込んだ“たこ”のおにぎり、The 日本食であつた。のりおにぎり 120 円、たこのおにぎり 220 円、サラダ・みそ汁、合わせて 1000 円以内で日本の味は超満足で元気が出た。

ご馳走様でした！



ノリのおにぎり

### おにぎりの思い出

大迫 京子・トーレンス在住

おにぎりと言うと、懐かしい幼い頃が思い出されます（昭和 30 年ごろ）。ある日の母親が留守中の出来事でした。年若い老人が物乞いに来たのです。何か少しでも食べ物を乞う彼に幼かった私は、恐怖の余り立ち竦んでいた。その時、小学校 6 年生位だった兄が、それは、それは、大きなおむすびを老人に差し出したのです。そして その老人はよっぽど空腹だったのか、むしゃぶりつき手に付いた、ひと粒さえ残さず食べました。そんな老人は一枚の切れ端に鉛筆で礼状を認めると、頭下げ下げ去って行きました。そんな優しい心を持った兄が他界して、2 年が過ぎました。コロナ禍中に肺がんの診断を受け、余命 1 年の宣告、もう一度でいいから会いたいと言う願いは叶わず、葬式の参加も叶わず、8 月の兄の誕生日を前にこの寄稿が供養になればとの思いです。



私の優しい心のお兄さん

(エッセイ)

### 卵かけご飯

近藤 敬 (カリフォルニア・フラトン在住)

日本でのサラリーマン時代、ビジネスホテルの朝食には必ず生卵が一つ添えられていた。サルモネラ菌による卵の汚染が問題視され、日本でも卵の生食が下火となったが、私には、卵かけご飯への強い愛着がある。私の母方の田舎では庭に鶏を飼っていた。私は小学 4 年生の時、香川県の坂出から観音寺まで、国鉄予讃線で 1 時間の“初めてのお使い”をした。その夕食に、何と 2 つの生卵が添えられた白米のごはん、こんな美味しいものがこの世にあるのかと感嘆したことを今も鮮明に覚えている。その後、私は大の卵ファンになったが 50 歳を過ぎた頃、



卵アレルギーになった。偶然にも家で夕食にオムレツを食べ、翌日には仲間との昼食でオムライス、そして夜には飲み屋でだし巻き卵を食べたところ、翌朝、顔が腫れ、身体が充血し、体調が悪化。積年の卵の食べ過ぎの祟りなのか、身体を守る免疫が昨夜の卵を毒素と勘違いしてしまった。それ以来 30 年間、卵を避けてきたが、2 年前からは恐る恐る卵を食べ始めた。かつてのように乱食することはないが、今は卵を食べられる幸せを感じている。人生の終焉のホスピタルで、何か食べたいものがある？と聞かれたら、迷わず卵かけご飯を所望するつもりだ。白いご飯に香ばしい醤油をかけたあの卵かけご飯を、しかも卵は 2 つだ。

シニアの生きがいや、健康維持の方法がメディアを賑わして久しいが、最近、ぎょっとする大学の先生の話テレビで聞いて、自分を反省することになった。

私は今まで豊かに齢を重ねていくシニアは、その体験や仕事経験を次の世代に伝えるプラスの効果だけを考えていたものだ。しかしFClテレビで、ある大学の先生が、シニアが「老害」をもたらす可能性の警鐘を鳴らしていた。その内容とは：

- 1) 昔話をする。      2) 自慢話をする。      3) 説教をする。



そういえば自分に照らし合わせれば1と2はよくあるある～なんですねー。かつて日本での楽しかった生活、仕事でこんなこと褒められた、自分の息子達はこんなに活躍してるってね。殆どのシニアはリタイヤ人間ですから、日本のバブル期に世界を股にかけてビジネス活躍していた過去の栄光が忘れられないのでしょうか。この地に住んでいる私の周りのかつてのXXX商事、XXXバンクおじさんたちにもそれらの自慢話をする方がいる、いる～のです。

でも若い人たちにとっては全部過去の事象。リモートワークでITの仕事をする現代の若者などには、お手本になることは少ないのです。鼻つまみになるだけで、会話にも入れてもらえませんね。もうそろそろ人前での昔話も自慢話もやめましょう。ましてや

若者への説教などとんでもないです。昔話は「チャランポラン」の中だけで共有しましょ！

## 日本人の素敵なマナー

今森貞夫 (SADAO IMAMORI)、Honolulu, Hawaii

車道の片脇に連なっている芝生の絨毯上は、犬達の恰好の運動と排泄の場所。一緒に散歩する愛犬家は、片手のグローブを使って適時に処理をする・・・常識なマナーだ。小生毎朝散歩する中で、犬連れとは関係のない近辺に住むアジア人らしき婦人が、

周りの景観を損なう「フン」拾いをやっていた。普段よりこのような奇行な行いをする人間は珍しい人と思いつつも、思い切って尋ねてみた。「貴女は日本の方ではないですか」。「ええ、そうです。こちらに来て五十年です」。



## 川柳 柳号 もりもり

- シニアです 確認されず 支払えた



- 大谷の 姿凛々しい ビル壁画



# 絵手紙川柳



のりえ作



笑子作



きり子作



美代子作



キャロライン作



かおる作



洋子作



紀恵作



陽子作



早苗作



恵子作



恵美子作



ハロン湾

東京に桜前線が訪れる前に、長い間切望していたハロン湾へ行くために羽田からハノイへ飛び約5時間で着いた。天候にもよるのだろうが海の色は濁り、そこに何隻も観光船が行き交っている。波がたたない水面は、とろっと油を流したように静寂な雰囲気醸し出す。この景色は墨絵に例えられるが、まさにその通り。色彩がない海上を舟が進む。船べりに腰かけて大小無数の岩や島が作り出す景観に身をゆだねていると、ある種の瞑想状態に入れそうな予感。人によってはこれを退屈な観光と呼ぶのかもしれないが、クルーズには豊富な海鮮料理のランチや、湾内の島に上陸して鍾乳洞を巡るツアーなども含まれ満足した。

ハロン湾の水の濁りは、生活排水が流れ込んでいるとか急激な工業発達に浄化設備が追い付いていないからと言われているが、後日のクルーズ、チャンアンも濁った川だった。これはベトナムの地形、ゆったりと流れる川が多いということも関係しているのだろうか・・・



観光船船着き場

## ワクワクした旅先の話

古口友紀 Hermosa Beach, CA

青森県では、司馬遼太郎に ” どこか宇宙からの来訪者があったら一番先に案内したい海岸…”と言わしめた、美しい種差（たねさし）海岸があります。ある日、レールパスを使い九州から東北の端まで新幹線に乗りまくりすっかり疲れた私は、青い森鉄道のゆっくり走る電車に乗ってワクワクしながら種差海岸に向かっていました。

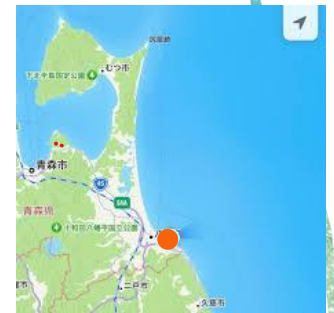
ところがあと、数駅といったところで突然電車が止まり、何かと思ったら、トンネル内の事故とのこと。

周りはだんだん暗くなり宿に着けるだろうかと心配していましたが、どうにか無事小さな駅に到着できました。東京の姉を通して宿に連絡を入れておいた私を民宿の女将が暖かく迎えてくれ、お腹具合までも心配してくれました。

ぴかぴかに磨かれた清潔な宿。翌日のザ日本の朝ごはん、種差海岸のトレイルの素晴らしさ！

これが朝食こみシングル個室、大風呂あり、海まで数分のロケーションでなんと一泊35ドル！

リタイヤしたら、このような日本のお宿を巡る放浪の旅に憧れる私です。ちなみにトンネル内の事故は、天然記念物のニホンカモシカで、翌日の朝刊に載っていました。



ザ日本の朝ごはん



民宿の女将さん

# 尾道

平林美代子、カリフォルニア州

尾道を拠点に日本海につながる「やまなみ街道」とか四国につながる「しまなみ海道」があり、特にしまなみ海道はサイクリングロードの世界のメッカとして四国まで自転車で走破します。多くの外国人も訪れています。

千光寺公園から見る景色は絶景で海を眺めながら一歩一歩登ることは勿論、ケーブルカーでも登れるので歩くのが苦手な人でも簡単に登ることができます。

名作映画小津安二郎の「東京物語」や尾道出身の大林宜彦監督の映画など映画の街としても有名です。

あ〜5年ぶりに見る尾道の海は懐かしい林芙美子の尾道時代の家やここで暗夜行路を書いた志賀直哉の家も記念館としてそのまま残されています。

ここは元々北前船の寄港地だったので、航海の安全をねがう多くの寺や除夜の鐘で有名な千光寺などお寺も多く、下りは文学の小道を歩いて下るのがお勧めです。



やまなみ街道



訪れた時、ちょうど港まつりが2日間に亘り行われていました。村上水軍の勇壮な太鼓、街を練り歩く活発な踊り、多くの観光客が楽しみました。

食べ物は瀬戸内海で取れた美味しい魚料理のお店や尾道ラーメン、「桂馬」の蒲鉾、老舗の海鮮問屋の亀田商店とか、元お風呂屋さんを喫茶店にしたり工夫を凝らした港町として個性的な店も多く最近では若い人向けに駅前のピザの店トランクイッコやフレンチなども人気です。



泊りも尾道の海を一望できる料理旅館や 駅や海が目の前のビジネスホテルもあって手ごろな値段で気楽に行けます。

高級を望むなら、世界の富豪が自前の大型ヨットを作る常石造船所があり長期滞在、船の出来具合をみながら贅を尽くすホテルもあります。

あなたはどちらを選びますか？



村上水軍太鼓



常石造船所

# 私が一番感謝している人

Misae Shoji, New Mexico

私は子供の頃、あまり話さない子供でした。人見知りするというよりは、人を黙って観察するという感じだったと思います。それは、多分、私が2歳上の兄と2歳下の弟を亡くして、間に生まれた子供であることと、日によって1升瓶以上のお酒を飲むと必ずと言って良い程顔を青くして暴れ出してしまう体質を持った父の存在があったと思います。

小学1年生になるとあまり話さないという理由から、母が学校から呼び出され私を「特別学級に入れた方が良くはないのでしょうか」と言われたと、後に小学3年になった時打ち明けてくれました。母はその時、学校の先生に「家の子は頭が悪いんじゃないで、ただ物事を人より観察することに集中してしまう子なんです」と言ったそうです。さらに、嫌な事を経験しました。私の田舎では住民の殆どが車をあまり持たない時代で、バスも1日4回しか巡回していませんでした。学校帰りは皆が同じバスに乗るしかありませんでした。

小学一年半ばから3年生になるまで同級生の男子1人と1学年上の男子1人に毎日のように帰りを待ち伏せされ石を投げられたり逃げると追い掛けられ、両足を掴まえられ引きずられたり、ある時は1人が左足を、もう一人が右足を横に引き裂くように引っ張ったり蹴られたり髪の毛も引っ張られました。6歳上の兄に助けを求めて相談した次に日、いじめはさらに悪化しました。

しかし、3年生になって転機が訪れました。担任の先生が佐々木昌子先生に代ったのです。その先生はいつも笑顔の優しい先生で何度か家庭訪問で家を探ねてくれました。ある日先生は私に「放課後学校に残って習字を習わない？」と聞いてくれました。私は佐々木先生の教え方や生徒と接する姿勢が好きだったので習うことにしました。そうすると悪ガキ達とは帰りに会うこともなくいじめられることも無くなりました。バスは夕方の便になってしまいましたが、もくもくと練習に励んだ私は、その年3年生の部門(225人中)で金賞を取りました。きっと佐々木先生は母から私がいじめられていることを聞き、気を配って下さったのだと思います。小学3年の学校生活は一変して夢のように楽しい日々となりました。

4年生になるとあんな田舎の学校に東京から背が高く、可愛い女子生徒が転校して来て、彼女は一躍学校の人気者になりました。どう理由か私と友達になってくれて

増々私の小学生生活は楽しく安心安全なものとなりました。何かに熱中することといじめから解放してくれた佐々木先生は私にとって今でも大切なヒーローです。



習字風景 Google Image

# あの町、この町、私の街

## 阿蘇神社とわたし

古木裕子 熊本県在住

2016年4月16日、熊本地震で震度6弱を観測した阿蘇市では、日本三大楼門の一つである阿蘇神社の楼門が倒壊した。阿蘇神社は、2000年以上の歴史を有し、楼門はいわばシンボリック的存在である。すぐに全解体修理がなされ、他5棟の重要文化財建造物の部分修理と拝殿の再建も含め2023年12月に復旧完了した。

見どころは多々あるが、今回は2つご紹介したい。1つ目は拝殿である。木材は、地元の阿蘇中央高校の生徒さんが育てた樹齢約90年のヒノキ50本が使われた。拝殿内は、木を育てた方々や職人の「氣」が現れているかのごとく、ヒノキの芳



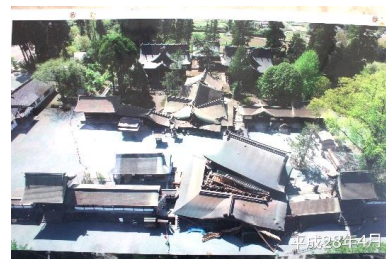
新旧の部材のつなぎ目



阿蘇神社楼門

しい香りと温もりで満たされ、清々しさと共に心洗われる思いがする。2つ目は楼門の柱である。新旧の部材を接しているのだが、新しい部材は古い部材よりも半径が5mmほど大きい。これは木が収

縮するという性質を熟知した宮大工が、半世紀後に新旧の部材の直径が揃うことを見越したのである。その秀でた「勘」に敬服する。宮大工だったという宮里勝さんのお父様に、ふと思いを馳せる。半世紀先を見据えた行動。私にはそれが出来ているだろうか、と己を振り返る。



地震直後の阿蘇神社 2016年4月

いつの時代も阿蘇神社に真摯に向き合う人々の姿



拝殿内で手を合わせる娘

があった。木の年輪のように、時を経た分だけ人々の息吹が刻まれる。次世代へバトンを渡すのは、今を生きる人の使命であるといえよう。

1976年にジャーナリズムを勉強するためアメリカへ留学。

英語もろくにしゃべれないのにジャーナリストになるなんて無理だと学校 CSUS (California State University, Sacramento) の教授から言われた。せめて一学期でもいいから勉強させてください、それから決めてくださいと頼み込んだ。毎週の宿題に必ずニュースを一個提出しなければいけないことになっていたため最初の週はさすがに慌てた。時間が迫ってきたがまだ記事の一つも出来ていない。

犯罪記事を書こうと思ってサクラメント・ダウンタウン Sheriff Department の前まで行って入ろうとしたら身分証明書がないため入れなかった。ちょうどある記者が入ろうとしたところを黙って後ろにこっそりついて行ったが、どこへ行けばいいのかよくわからず、結局は最上階の Sheriff 長官室にたどり着いた。秘書に「アポはありません」と言って目的(学校の宿題)を話したら、電話で長官に連絡をしてくれ、長官が入れてあげなさいと言ったらしく私を長官室へ入らせてくれた。長官は優しいまなざしで私を迎え入れ、学校の宿題の為だとわかって、その場で「僕が Sheriff の Spokesperson として記者会見をするので、あなたは記者でいて下さい」。



CSUS 大学

昨夜に起きたホールドアップ事件を読み始めたら途中で知らない単語が出てきた。その単語の意味を聞いたら鉛筆と紙を取り出して絵を描いてくれ、それで初めてわかった。それから続けて「記者会見」は終わった。

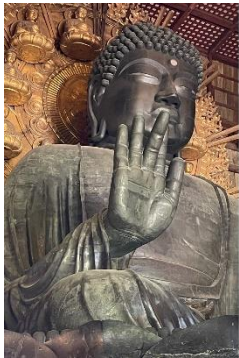
翌日、その宿題を先生(私に米国でジャーナリストになるのは無理と言った先生)に提出したら、先生がなんと全クラスにそれを見せ、すごく褒めてくれました。ジャーナリストになるには勇気と根気が必要と全クラスから拍手。それで自信がついて毎週いろんな記事が書けるようになり、キャンパス新聞“HOENET”に載るようになった。このようにして私のアメリカにおけるジャーナリスト人生が始まったのである。アメリカの懐の深いところを今でも感謝しています。

旅日記・日本旅行

奈良

宮里 かつ

Torrance, Ca



京都駅前から「日帰り奈良東大寺・若草公園」行きの観光バスに乗った。料金は入園料金込みの 3,000 円。整備された高速道路を走り僅か 1 時間余りで奈良に着き、想像以上に近く感じた。このツアーは外国人相手の英語で案内するツアーであった。日本でツアーバスに乗るときはいつも英語で説明のバスに乗るのが楽しみだった。兎に角、小学生、中・高校生の団体、その他が大勢でのんびりと見学出来ない状況。更に外国人客の多さには驚いた。少なくとも 1/3 はそうだ。安全な国、円安もあり日本中の観光地は外国人で溢れていた感じがした。

天平 13 年(西暦 741 年)に建造、世界最大級の木造建築物、東大寺の偉大さには度肝を抜かされた。数々の建造物を見てきたが精巧さ、威厳ある銅像、威圧感等々の大仏像、



東大寺 大仏殿



鹿に突き倒された

門構え、目の輝きにもその歴史の重さを感じ

た。次に、鹿が自由自在に遊んでいる奈良公園へ歩いた。511 ヘクタールと広々とした柵もない若草公園に約 1,100 頭が寝そべり、歩き、餌を貰いながらの放し飼いです。鹿の背中をなでると喜ぶ鹿、餌を待つ鹿、反応無しの鹿と気まぐれである。胸ポケットに入れていた紙をいきなり鹿が食いちぎり食べてしまった行動の速さに驚き、そのあとで突かれて自分は尻もちついて、臀部が傷んだ。規定の時間内にバスに戻るのには外国人には苦手なのか案内人も苦

戦していた。幸い席は案内人の隣に座り、日本語で観光の説明だけでなく、

人生苦労話も聞けて二重の楽し得た 思い出の奈良観光であった。



# 浅草凄腕女将 勇気・やる気・元気！

大川 敏子 California

日本を代表する観光の街として知られる「浅草」。でもその浅草は 1964 年開催の東京オリンピックで新幹線、高速道路のインフラができたことで人の流れが新宿、渋谷と代わり、以降ゴーストタウン化していきました。

「自分が生まれ育ったこの浅草を、このままでは終わらせない。子供、孫達にいい浅草を残してあげたい」と浅草の建て直しに奔走され、世界の「浅草」を創り上げたのが「一般社団法人ニッポンおかみさん会」の会長で「共同組合浅草おかみさん会」理事長の通称 ”おてるさん” 富永照子さん。寿司通りにある「うどん、そばの十和田」の四代目女将さんです。



女将さんの富永照子さん

「芸人は浅草の宝」と長年芸能人関係者達をサポートされて来られた女将さん。売れない芸人達には自分のお店の食事券をあげるなどのお世話をされ、タレントの萩本欽一さんは今も「照子さんは浅草の母」と、尊敬されているそうです。「右手にそろばん、左手に人情」と走り続けてこられた女将さんの生き様、並外れた街興し企画に大いに刺激されました。特に以下の3つの企画は浅草っこ達も度肝をぬく大企画でした。

**企画 1:** 浅草サンバ・カーニバル：浅草の街をきらびやかな衣装をまとったダンサー達が練り歩き、浅草の夏を締めくくるカーニバル。毎年50万人の観客で賑わう大イベント。



浅草サンバ カーニバル

**企画 2.** 浅草にロンドンの二階建てバス：浅草の観光案内図に目玉商品がほしい。そこで「ロンドンの2階建てバス」2台を3,000万円で購入を決意！しかし手持ちは、たった10万円。そこで女将さんの取った行動は、バスの側面に広告を掲載する条件で浅草商店街の店全体にビール販売を強化。ビールメーカーがスポンサーとなり、



浅草名物 ロンドンバス(当時)

3,000万円の工面に成功。更に、この2階建てバスを浅草の街に走らせることで、女将さんは運輸大臣に直接交渉をされたのです。これも凄腕女将さんだからこそその快挙でした。

**企画 3:** 浅草ニューオリンズ・フェスティバル：本場ニューオリンズからジャズ奏者を招く夏恒例のフェスティバル。「ニューオリンズジャズ・オールスターズ」による演奏はすでに35回目。凄腕女将さんは、30年間、ニューオリンズの名誉市民です。



女将さん(左) In New Orleans



ジャズ奏者と女将さん

次に商業施設の誘致を企画し、それも30億円という途方もない金策で悩んでいた女将の前に救世主が現れたのです。「あなたが富永照子さんですか？ 私に何かお手伝い出来ることはありませんか」と同じく浅草出身で、ホテルニュー・オータニの元社長、大谷米一氏が女将を訪ねて来られたのです。女将の企画に同意された大谷氏は「ぜひ、力になりましょう」ということで十和田店のすぐそばに9階建ての「浅草 ROX」の誘致が実現したのです。



浅草 ROX

2003年ころにはNHKの連続テレビ小説の舞台にもなり、浅草寺ライトアップを実施、浅草寺前でコシノ・ジュンコさんのファッションショー開催など、女将の企画はとどまることを知りません。



女将が送ってくださった「おかみの凄腕知恵」の本が目の前にあります。たくましく生きる為の実用書「女だからって、舐めんじゃない！勇気、やる気、元気」を地でいく女将の行動力、交渉力、難題を次々に論破していく女将の凄腕知恵。浅草女将さんに会う度に、そしてこの本を読む度に元気をもらいます。

これから日本観光へ行かれる読者の皆様には、女将さんの生き様があちこちに感じられる「浅草」の街を堪能していただきたいものです。

女将さん、御年 87 歳。ますます元気です！

# 創刊20号を記念してあなたの川柳作品を募ります！

1. お題： 20号 記念日 創刊 シニア
2. 作品数： 5作品限定
3. 締切日： 2024年9月30日
4. 投稿方法： Email：Wordにて、 或いは 郵送にて。  
注意点： 他の作品や寄稿とは別に投稿すること。
5. 発表： かわら版20号にて掲載。掲載された川柳から、読者の皆さんに投票していただき、多数票の中から12位までをかわら版21号にて発表します。

## ドジャース試合観戦記

川上美穂子・モンレーパーク、CA

7月2日、ダイソー提供の“ジャパニーズ・ヘリテージ・ナイト”がドジャース スタジアムで開催された。母と私達家族、6人で観戦に行きました。

久しぶりのドジャース スタジアム！大谷翔平選手の活躍も期待しながら家族全員わくわく気分！駐車場に車を止め、センターフィールドの入り口に向かいました。今回も例年通りジャージーが配られる為、長蛇の列！皆なでサイズの確認をしながら並びました。

ジャージーをもらい、スタジアムに入り、席を探し、父との思い出であるドジャースドッグを買い、落ち着き、いよいよ試合開始！

大谷翔平選手は、7回の第4打席、四球のランナーを一塁において、右中間スタンドへの27号ホームランを打った。打った瞬間、迷いなくホームラン！地雷が落ちたかのような地響きで「うわー!!!」と会場が盛り上がりました！やったー！



主人は飛んで行くボールを見ながら、「スタジアムの外に出るのでは！」と思ったほどの堂々とした壮大なホームラン！ホームランを目にして改めて大谷選手の凄さに感動しました。これでリードしたドジャース。客席の応援はとどまる事を知らず興奮状態が続いた。

その後、5対4と1点リードされた9回の裏、ウィル・スミス、フレディ・フリーマン、T・ヘルナンデスの連続ヒットを打ち激的なサヨナラ勝ち！帰りかけていた観客も振り返り、またまた大興奮！ハイファイブをする人達、踊っている人達、抱き合って飛び跳ねている人達、観客は大喜び！

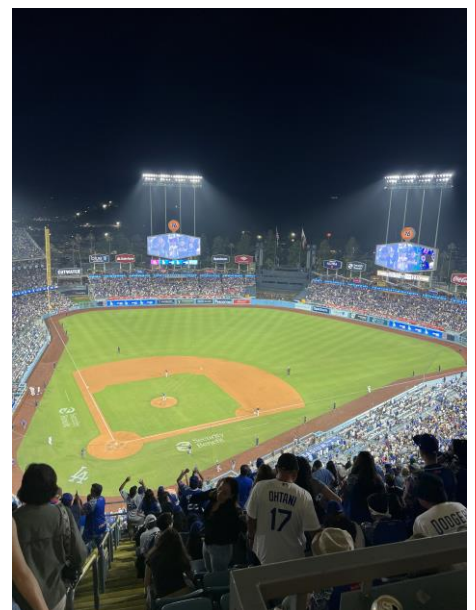
このような試合に皆なで参加できた事は本当に幸せ！喜びを分か合える最高に楽しくて、思い出深い試合でした。「良い試合だったね〜。」

「楽しい試合だったね〜。」と言いながら帰宅しました。

大谷翔平選手の活躍をこれからも応援して見守りたいと思います！

当日の成績:

ロサンゼルス・ドジャース	(1位・53勝33敗)	6点
アリゾナ・ダイヤモンドバックス	(41勝・44敗)	5点



---

## 「かわら版」 20号のお知らせ

1. 発行予定日： 2024年12月15日
2. 特集： 私とかわら版  
20号発行へのエール（自由題材）  
川柳投稿（お題：20号、記念日、創刊、シニア）詳細は18ページに。  
あの町、この町、あなたの街 / 旅日記  
みんなの広場（お便りコーナー）
3. 原稿締切： 2024年10月20日
4. 原稿を送付する場合：必ず「氏名」「City/State」「電話番号」「Email アドレス」をご記入ください。
  - コンピューターを使えない方は手書きでの寄稿も大歓迎です。  
お手元の便箋に書き留めてお送りください。原稿用紙希望の方にはお送りします。

---

## 「かわら版」の継続とお願い・ドネーション

会員の皆様にはご承知の通り「かわら版」は全てが私たちの無償報酬にて運営されており、その財源は皆様からの「ドネーション」にて賄っております。

この会は連邦政府からの NPO 非営利団体として認可（501.C.3 FEIN-2811563）を受けております。

- Venmo での送金もお受けしております。” CharanPoran USA” をご指定ください。

---

## かわら 20号発行記念特集

2019年5月に創刊号が発行され、今年12月の発行で20号になる。単に「20号」とは言え、此処までの道のりは平たんではなかったと思える。発起人である故雲田氏、鳥居井氏、鶴亀氏、高山氏の四人で始まり、{皆さん、一緒に楽しく、チャランポランに生きましょう！} の感じでスタートしたようだ。2022年新春11号から運営委員も新たに組織され、会員の皆様、お友達、更に特別に寄稿して頂いた方々のご協力にてかわら版20号を迎える事に成り、本紙上にて厚くお礼を申し上げます。体力の許す限り、浄財が集まる限り、原稿が集まる限り、かわら版製作にボランティア精神にて尽くしてまいりたい所存です。これからも一層のお引き立て、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

運営委員一同

Funding for the project is partially supported by 

## 編集後記

5月27日、博多発のぞみ号、38号、午後2時36分発の切符を Online にて購入。QR Code を確認しないと入場出来ないのを窓口にてお願いしたら「携帯でやれますよ」と不機嫌な顔で突き返された。駅構内で何度やつても確認できず、今度は改札口にいた職員に訊ねた。約45分くらいいろいろ試したが QR Code を確認できず、事務所の中で相談してくれた。結局携帯から確認不可で、出発時間が近づくので手書きで入場許可書を作成してくれた。更に、Gate まで同行してくれ無事に乗車でき、京都までの新幹線を最高に楽しめた思い出の旅。名札に「前田」と書かれていた。前田さんの親切は生涯忘れないだろう。日本人の「親切」はまだ活かされていることに誇りを持た。 かつ



チャランポランの会は、シニアの方々が生きがいを持って人生を楽しみ、健康で長生きすることを目的としています。シニアだからこそ言える苦言、提言、さらに社会奉仕まで 参加される皆様と一緒に考え、創り上げていく会です。

風に揺らいているチャランポランな葉っぱであっても、その木の根っこは長い人生を歩んできた分、どっしりと深く広がっているシニアの木。その「シニアのシニアによるシニアのための会報誌」がこの「かわら版」です。今後のチャランポランの会と「かわら版」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

[www.charanporanusa.org](http://www.charanporanusa.org)

表紙 : Little Tokyo にあるホテルの壁に描かれ、新しい観光の目玉になっている Dodgers の大谷翔平選手  
この画像は 14 ページに掲載されている尾道やまなみ街道です。